

麻生区区民会議 第16回企画部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成26年1月6日（月）午後7時00分～午後8時45分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[企画部会委員]
金光部会長、田中副部会長、石井委員、菅原委員、村主委員、高倉委員、東川委員
[事務局]
鈴木企画課課長、白石係長、麻生
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料
 - ・資料1 安全・安心のまちづくり部会 議事要旨
 - ・資料2-1 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 議事要旨
 - ・資料2-2 // あさ子育てフェスタの検討シート
 - ・資料2-3 // 説明会内容案
 - ・資料3-1 第4期区民会議報告書 1・2章修正案
 - ・資料3-2 // 3章 企画部会案
 - ・資料3-3 // 4章 区民会議フォーラム報告案
 - ・資料3-4 // 表紙の検討案
 - ・資料4 区民会議ニュースVol.5発行スケジュールについて
 - ・資料5-1 区民会議交流会 取り組み状況説明用資料
 - ・資料5-2 // 概要・参加者一覧
 - ・資料6 麻生区地域課題解決型提案事業審査委員会委員の推薦について

6 議 事

(1) 安全・安心のまちづくり部会の進捗状況について

高倉副部会長から、モデル事業の実施報告と今後の予定について説明がなされた。

- ・12月21日をもって、家具固定工事のモデル事業が終了した。マンション系6世帯、住宅系13世帯（2世帯住宅2棟含む）。ほぼ予定通りの世帯数に対応できた。
- ・川崎市家具転倒防止事業を担っているシルバー人材センターの方に、モデル事業を見学してもらいヒアリングを行った。シルバー人材センターでは耐震性の実証ができていない方法は施行できず、L字・T字金具で固定していることを確認。
（モデル事業では、世帯と相談した上で施工業者とNPOの構成チームが対応し、様々なケースに応じて具体的な家具の固定方法を行っている。）
- ・ハニカムボードを使用した家具の固定について、区民会議委員の自宅で実際に試し、写真等、わかりやすい形で紹介する。
- ・今後は、モデル事業のアンケート結果を検証の上、普及啓発や提言のとりまとめの作業に移る。普及啓発の方は映像と紙ベースの二つの方向から作成を考えている。
- ・普及啓発資料の作成にあたっては、モデル事業の工事関係者や、今回のモデル事業を監修頂いた明治大学の園田教授に意見等を伺う予定。

【主な意見】

- ・牛乳パックを使用したハニカム構造による家具固定の効果は実際にはどうか。
→食器棚に牛乳パック20個使用して詰めてみた。頑丈に固定されていたと思う。
- ・モデル事業で実際に使用した家具固定器具は何か。
→L字金具の他に結束バンド、キャストストッパー、滑り止めのシート、木片等を使用した。

(2) 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会の進捗状況について

石井部会長から、資料に基づき、あさお子育てフェスタを中心に説明がなされた。

- ・フェスタの協力団体について、今のところ、運営協力で十数団体集まっている。その他、ポスターのみ提供して頂く団体もある。1月15日に協力団体向けに説明会を開催する。また、運営スタッフが不足しているので、「フェスタ検討会」を開催し、区民会議委員の他、協力団体にも運営に携わってもらう。
- ・内容は、フリーマーケット、ミニコンサート（大学と連携）、絵本読み聞かせ、自由な遊び広場、パネル展示、行政情報コーナーなどを予定。各委員がそれぞれの会場を担当する。協力団体が実施する個別イベントについては、企画シートを元に調整していく。
- ・子育てしやすい環境づくりワーキンググループでは、フェスタの実施結果やアンケート調査を踏まえてから提言を見出していく。そのため、提言内容を導き検証できるような形として「子育て支援フェスタのアンケート」の作成を検討している。
- ・芸術・文化のまちづくりワーキンググループでは、現状では大枠の審議テーマである「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり」に関連した内容が見えにくいとの意見があるため、子育て世帯にフォーカスし、提言の検討を重ねていく。

【主な意見】

- ・今回はフォーラムというよりもイベントという形になっているが、安全・安心のまちづくり部会はどのように関わればよいのか。資料をみると、第5会議室が空いているが。
→モデル事業実施結果の発表等をするには十分に可能。また、ロビーに区民会議コーナーを設置する予定。
←次回の安全・安心のまちづくり部会で発表するかどうかを含め検討してみる。
- ・知り合いにアニメに携わっている方がいる。その方の協力を得て、たとえば、アニメ映画を放映することは可能か。
→実現すれば、集客効果が見込まれると思う。次回の部会で諮ってみる。

(3) 区民会議報告書の検討について

事務局が報告書（案）の資料を元に説明。企画部会の内容を中心にレイアウトや文の検討を行った。

【主な意見】

- ・報告書表紙は、委員自身でデザイン等を作成することができないか。
- ・第2章「審議課題の選定と審議の流れ」について
→項目の一つに「区民による区民のための調査審議」とあるが、実際には課題の把握・選定の段階から区民と連携していたので、その辺の記述が不足している。
←必ずしも「区民による区民のための・・・」の文言に拘る必要はないのでは。
←区民に身近な会議というのは、第4期区民会議の全体を通しての方向性なのだから、第1章に掲載した方がよい。
→「審議テーマの決定」の段階が抜けているのでは。
→「提言の作成・提出」とあるが、提言は作成するのではなく、とりまとめるものではないか。
- ・第3章「企画部会」について
→企画部会の検討経過ではなく、企画部会の役割として、記載した方がよい。
→企画部会は、効率的な運営を「全体の運営」と「広報広聴活動」の2つがメインの活動。「全体の運営」について「各部会の相互調整」を行ったなどの記述が不足しているのではないか。
→文末は体言止めではなく「～しました。」の方がよい。レイアウトも修正が必要。
⇒本日出た意見を元に、修正を加え2月の企画部会で改めて検討する旨確認した。

(4) 区民会議ニュース Vol. 5 発行スケジュールについて

事務局が資料を元に説明。2月末の発行に向けて、今後のスケジュールの確認を行った。

併せて、2月企画部会に提出する(案)は広報担当の田中副部会長が作成する旨、今回の1面は、あさお子育てフェスタ開催案内を掲載する旨、確認した。

【主な意見(田中副部会長より)】

- ・事前に叩き台となる案を1月19日頃に送付する。2月の企画部会当日に二転三転しないよう確認の上、修正要望等があれば、必ず事前に連絡ほしい。

(5) 区民会議交流会について

- ・事務局が資料を元に説明。取り組み状況の説明用資料や、タイムテーブル等を確認した。

【主な意見】

- ・タイムテーブルを見ると、新市長は途中からの参加で、5分程の挨拶。新市長が「区民会議」をどのように考えているのか、これではわからない。意見交換の時間をなくしても、挨拶の時間を増やした方がよいのではないか。

(6) 麻生区地域課題解決型提案事業審査委員会委員の推薦について

事務局より、当委員会の委員について3月で更新の時期を迎える旨説明。ただ、第4期区民会議の任期は6月までと残りわずかなので、その間は現委員の金光部会長が継続する旨を確認。7月以降は第5期区民会議委員内で改めて推薦してもらう旨、確認した。